

株主メモ

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先) | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-782-031 |
| (インターネットホームページURL) | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 公告の方法 | 当社のホームページに掲載する http://www.ferrotec.co.jp/ |
| 上場証券取引所 | 株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード |

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

年間IRカレンダー



Ferro Tec

株式会社 フェローテックホールディングス

〒103-0027

東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階

TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848

URL <https://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

第37期 決算報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

証券コード：6890

Ferro Tec

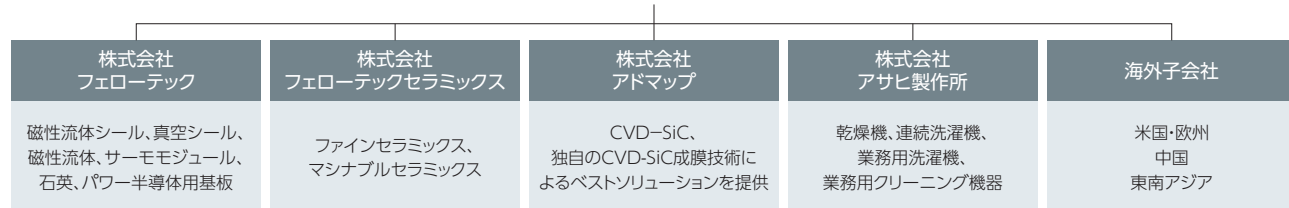
株式会社 フェローテックホールディングス

持株会社移行に伴う会社概要について

当社は、平成29年4月1日をもって会社分割による持株会社体制に移行しました。

Ferro Tec

株式会社フェローテックホールディングス



1 株式会社フェローテックホールディングス(旧、株式会社フェローテック)の概要

| | |
|-----------|--|
| 商号 | 株式会社フェローテックホールディングス (英文表記) Ferrotec Holdings Corporation |
| 主な事業内容 | グループ会社の経営管理、研究開発業務 |
| 本店所在地 | 東京都中央区日本橋二丁目3番4号(代表:03-3281-8808) |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 山村 章 |
| 資本金 | 13,215百万円 |
| 株式公開 | 東証JASDAQ(証券コード:6890) |
| 決算期 | 3月31日 |

2 株式会社フェローテック(事業承継会社)の概要

| | |
|-----------|---|
| 商号 | 株式会社フェローテック (英文表記) Ferrotec Corporation |
| 主な事業内容 | 磁性流体・精密金属加工品の製造販売、石英・シリコン製品・サーモモジュール・石英坩堝等の販売 |
| 本店所在地 | 東京都中央区日本橋二丁目3番4号(代表:03-3281-8857) |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 小松 輝寿 |
| 株主及び持株比率 | 株式会社フェローテックホールディングス(100%) |
| 資本金 | 350百万円 |
| 決算期 | 3月31日 |

経営トップからの御挨拶



代表取締役副社長 山村 丈 代表取締役社長 山村 章 代表取締役副社長 賀 賢漢

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第37期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社は、平成29年4月1日から「株式会社フェローテックホールディングス」と社名をあらため、持株会社体制に移行いたしました。持株会社はグループ会社の経営管理や研究開発業務を担い、事業子会社である「株式会社フェローテック」はお客様サポート、営業、製造、品質保証などを行ってまいります。

当社グループの業績に関しては、装置関連事業では、スマートフォンやタブレット端末などの電子機器に搭載される半導体・メモリ等の設備投資や設備稼働率が高い状況でした。これにより当社グループの真空シールやマテリアル製品も好調に推移しました。

電子デバイス事業では、北米市場と中国市場での自動車販売が年間をとおして好調であり、当社のコア技術であるサーモモジュールは、自動車温調シート向けが堅調に推移し、ウォーターサーバーや美容機器などの家電製品への採用も進み、皆様の生活の中でお役に立っております。一方、太陽電池関連事業は、中国市場において年後半から太陽光パネルの在庫調整が発生し厳しい事業環境となりました。不採算製品の縮小や装置除却などの収益改善策を継続しております。また、グループ全体の業容拡大のためにM&A策を当期も実行しており、今後の成長路線へのステップであるご理解を賜りたいと存じます。

当社グループは、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けることに努めております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月吉日

株式会社フェローテックホールディングス 代表取締役社長 山村 章

フェローテックと身近な社会とのつながり

当社の製品はあなたが見えないところでビジネスやインフラを支え、気づかないところであなたの暮らしとふれあっています。

エレクトロニクス産業 Electronics Industry



いまや暮らしの中でもビジネスにおいても手放せないスマートフォンや節電・環境対策にも欠かせないLEDなどの製造工程にもフェローテックの製品が活躍しています。

| | |
|--------|---|
| 最終製品例 | スマートフォン／パソコン関連／データセンター |
| 当社使用製品 | 真空シール／石英／セラミックス／シリコンパーツ／CVD-SiC／半導体用シリコンウェーハ／蒸着装置 |

医療機器 Medical Equipment



日本を中心に世界の先進国では今後益々高齢化が進み、それに伴い医療機器分野での当社の役割も増大すると考えられます。内視鏡や血液分析装置、その他検査装置等でもフェローテックの活躍するフィールドは広がっていきます。

| | |
|--------|----------------------|
| 最終製品例 | 内視鏡／血液分析装置／DNA増幅装置 |
| 当社使用製品 | セラミックス／サーモモジュール／磁性流体 |

自動車産業 Automotive Industry



自動運転タクシーの実証実験が行われ、EVやハイブリッド、GPSが当たり前になっている時代ではそれらを安全に管理し、伝える技術が必要。楽しいドライブや安全な人の移動のそばにはいつもフェローテックがいます。

| | |
|--------|-------------------------|
| 最終製品例 | 温調シート／カーオーディオ／カーナビ |
| 当社使用製品 | サーモモジュール／磁性流体／パワー半導体用基板 |

家電民生品 Consumer Electronics



IoTによりさまざまな人やモノ、情報がインターネットでつながるとネット製品や家電の境界もなくなり、家電が人を見守る時代がやってきます。その先端にいつもフェローテックがいます。

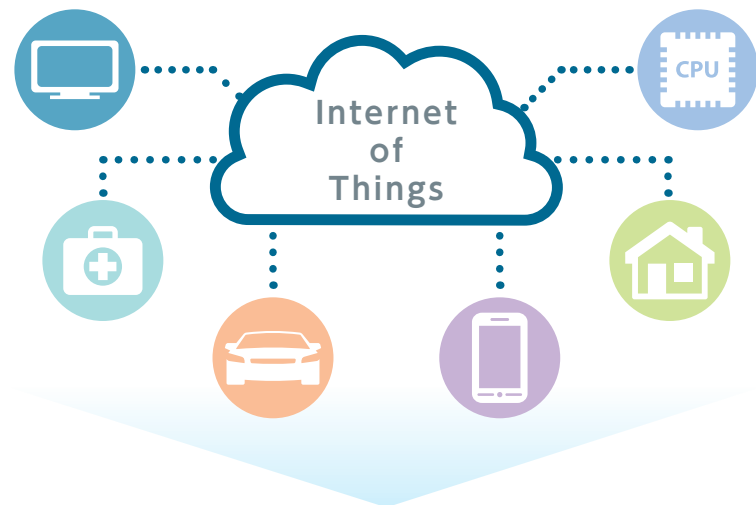
※サーモモジュールのように、最終製品に組み込まれるもの、石英・セラミックスのようにその製造工程で使用されるものがあります。

| | |
|--------|-------------------------|
| 最終製品例 | 液晶テレビ／エアコン／ワインセラー／ドライヤー |
| 当社使用製品 | サーモモジュール／磁性流体／パワー半導体用基板 |

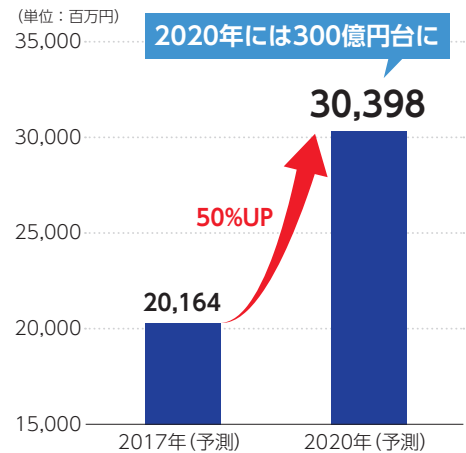
様々なシーンで社会に価値を提供し続ける。

IoT時代突入により、
様々なデバイスが
ネットワークに接続、
新規の半導体需要の増加は必至

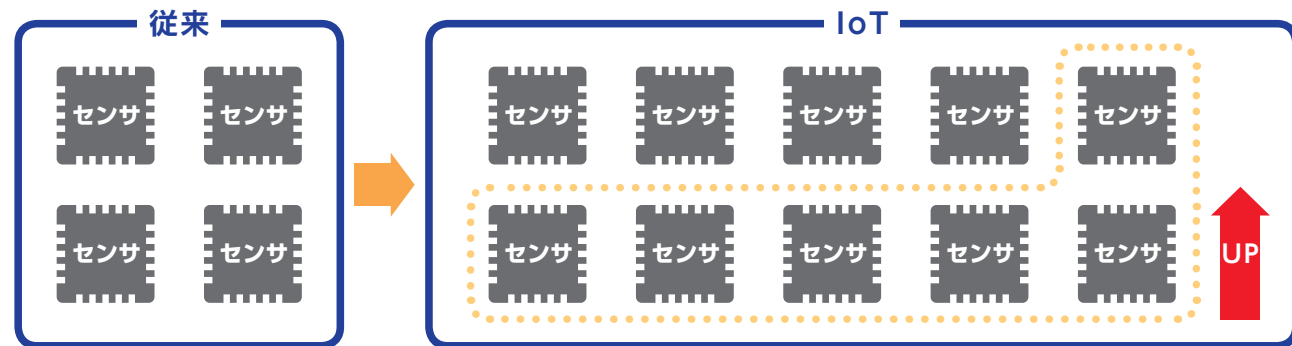
■ 半導体の需要増は必至



■ 世界のIoTデバイス数の予測*

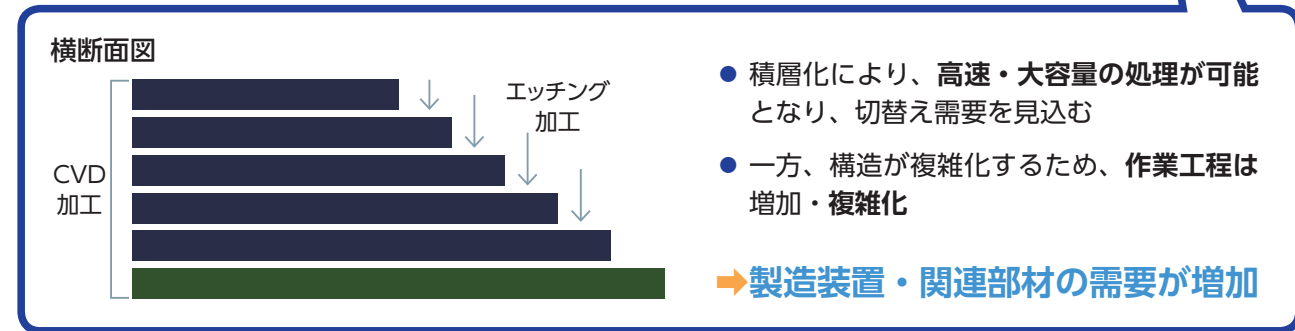
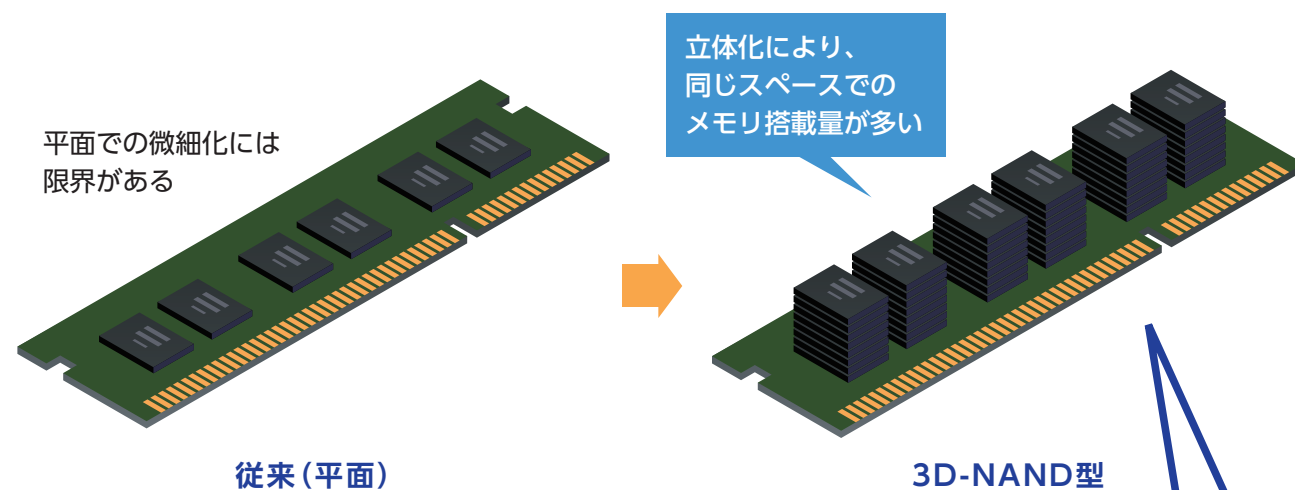


*「平成28年版情報通信白書」(総務省)より作成



積層化による高速・大容量化を
可能とした3D-NANDへの
切替えにより、
工程の複雑化に伴う装置需要が増加

■ 従来のメモリとの比較



技術トレンドの革新により、 新たな半導体需要は確実

■ 技術トレンドと半導体市場への影響

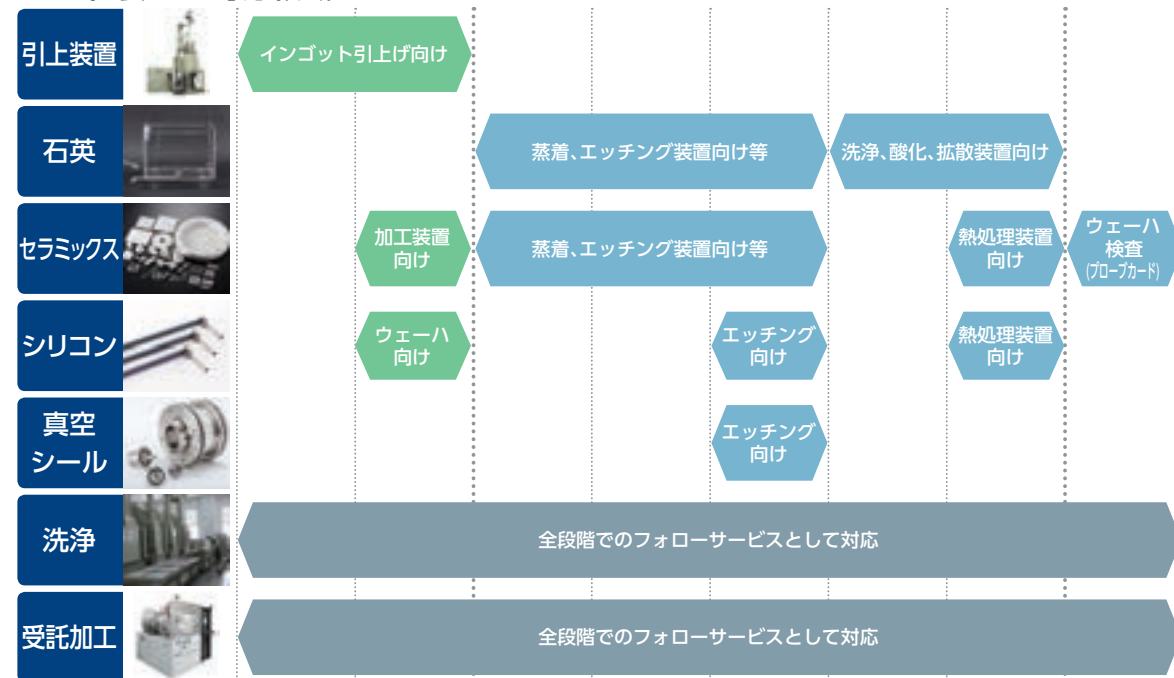
| 技術トレンド | 半導体市場への影響 |
|--|--|
|  IoT | 様々なデバイスが新たにネットワークに接続される →新規分野での半導体需要が増加 |
|  3D-NAND | 高速大容量スマートフォンへの置換え需要が発生 →プロセス工程の複雑化に伴う消耗品需要が増加 |
|  ビッグデータ | 膨大なデータの保存・解析用途に半導体メモリ需要が増加 |
|  AI | ビッグデータの活用による集積データ量の増加 →メモリ、センサー等の需要が増加 |
|  自動運転 | 新たな機能の追加に伴う部材需要の増加 |
|  移動通信システム(5G) | 高速大容量化、多数端末接続の増加 →サーバー用のメモリ、センサの需要増加 |
|  パワー半導体 | 世界的な省電力化の流れ →インバータの普及による需要拡大 |

ほとんどの工程で 当社製品が使用される

■ 一般的な半導体製造工程 (一部省略)



■ 当社製品の対応領域



当社の半導体分野では部材から加工まで数多くの製品を揃えており、技術革新に伴う半導体需要を網羅可能、増産を見込む

■ 当社の半導体関連製品



CVD-SiC



受托加工



石英製品



セラミックス製品



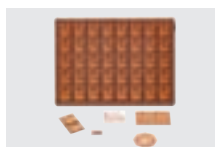
真空シール



シリコンウェーハ



装置洗浄



パワー半導体

全ての
技術トレンドに
対応可能

■ 次世代技術



IoT



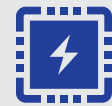
3D-NAND



ビッグデータ



5G 移动通信システム



パワー半導体

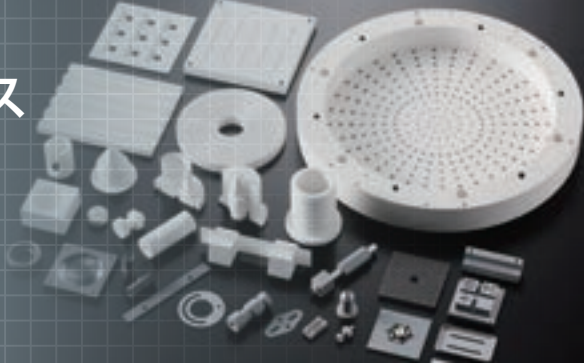
etc...

新たな半導体需要に備え、増産体制を構築中

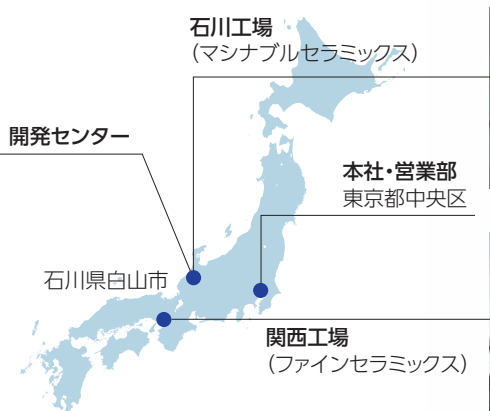
■ 増産体制への施策

| 分野 | 増産体制への施策 |
|------------|--|
| 8インチウェーハ | 中国銀川に8インチ(200mm)ウェーハ工場を新設 下期頃より本格稼働、最大月産10万枚の生産体制を見込む |
| 石英・セラミックス | 中国杭州に工場を新設、2018年3月期中に、 約3割から5割の生産能力増強 |
| CVD-SiC | 韓国唐津に関連工場を新設 本年6月より本格稼働、2019年3月期までに 売上倍増の50億円を目指す |
| メタル加工・装置組立 | 中国半導体市場の成長に応じ、杭州でのメタル加工事業拡大 また併せて上海での装置組立事業も強化 |
| 洗浄ビジネス | 本年3月に4拠点目となる洗浄工場を中国の大連に新設 主力事業としての強化を図る |

(株)フェローテックセラミックス 石川工場の御紹介



2008年フェローテックのグループ会社に加わった「(株)フェローテックセラミックス」は半導体・液晶・精密機器・医療など幅広い分野で使用されるセラミックスの開発・製造・加工を行っています。石川工場で製造しているプローブカード用セラミックスは世界で高い信頼とシェアを得ております。また、同工場近くに、「開発センター」を建設し、新しいプローブカード用セラミックスの開発・製造拠点とするとともに、兵庫県尼崎市の関西工場と石川工場に分散している開発部門を集約し、開発を更に加速させていく計画です。



敷地面積:9,002㎡
延床面積:1,553㎡(予定)
着工:平成29年6月(予定)
操業開始:平成29年11月(予定)

■ 半導体を支えるフェローテックのセラミックス製品



ウェーハ搬送ハンド



SiC真空チャック



アルミナチャンパー部品



プローブカード部品

石川工場では半導体製造工程で ウェーハ検査に使用される プローブカードのセラミックス基板の 製造を行っています



開発(素材・加工技術)・製造・検査を国内で一貫して行っています



製品素材(溶解法)

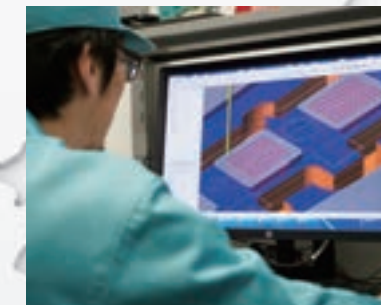


機械加工



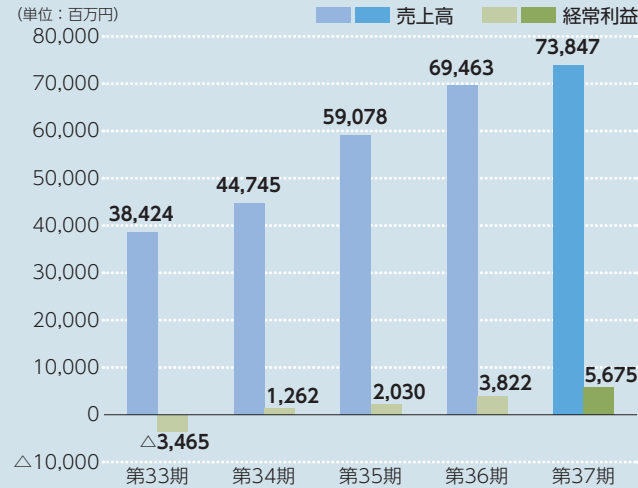
検査

新材料・新技術の開発を加速し、日本のものづくり強化

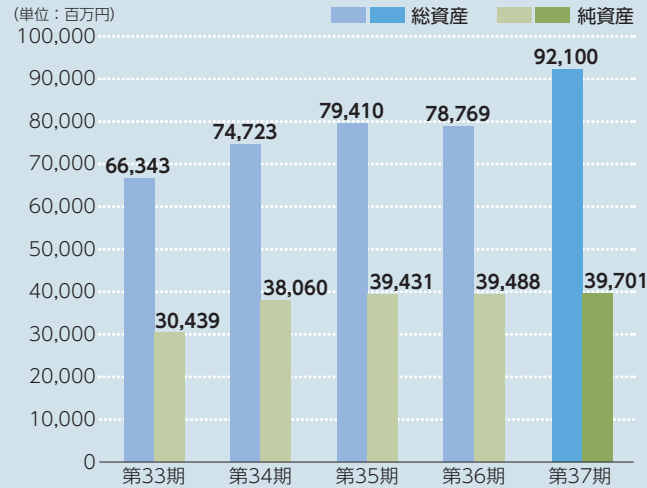


財務ハイライト

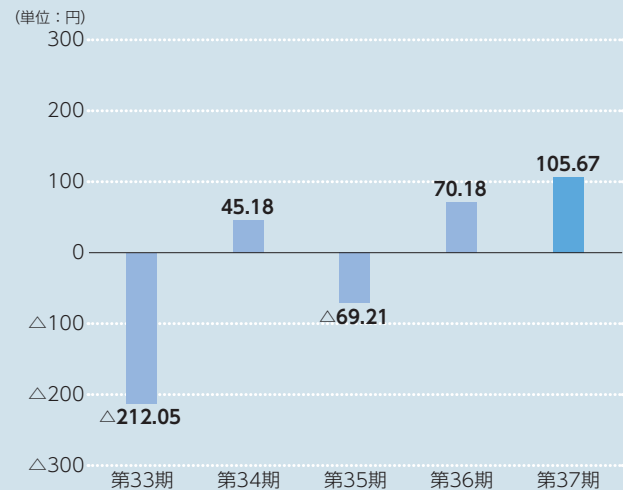
売上高／経常利益



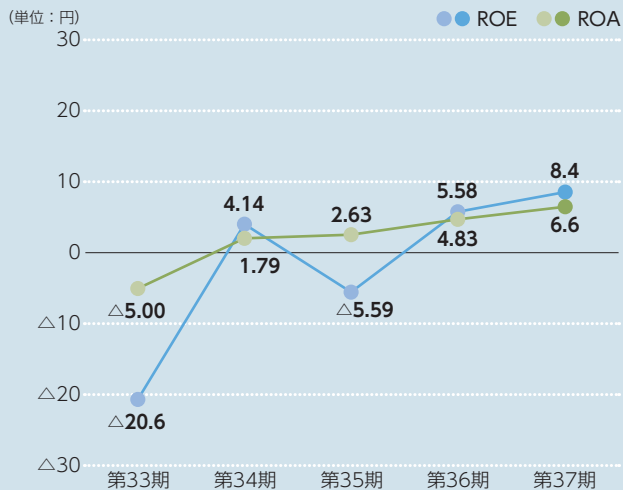
総資産／純資産



1株当たり当期純利益

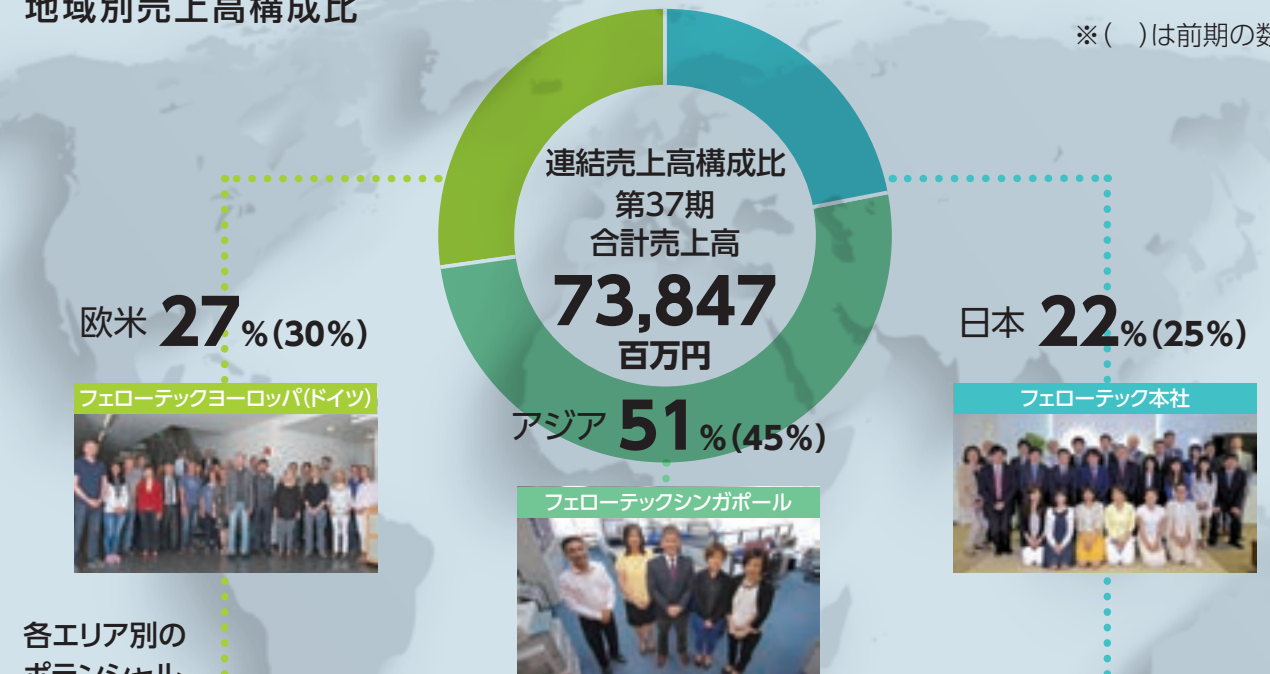


ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)

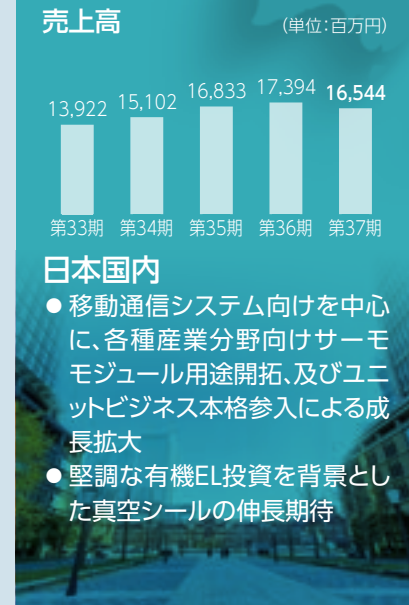
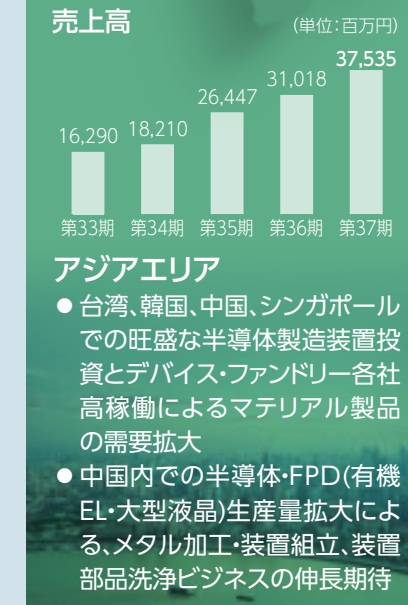


地域別売上高構成比

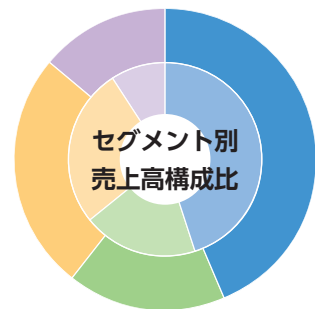
※()は前期の数字



各エリア別のポテンシャル



セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「装置関連事業」「電子デバイス事業」および「太陽電池関連事業」の3事業を報告セグメントとしております。

装置関連事業

売上高 **322億円** 営業利益 **42億円**

装置関連事業の石英製品、セラミックス製品、シリコンパーツ、CVD-SiC製品などの半導体製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、車載・モバイル通信機器用途の半導体や3D-NAND型フラッシュメモリなどの製造用途に需要が強く、堅調に推移しました。また、真空シールは、有機ELパネルの設備投資需要も増加しています。



セラミックス製品



真空シール

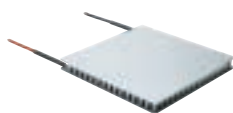
電子デバイス事業

売上高 **126億円** 営業利益 **25億円**

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、北米市場と中国市場での自動車販売が好調に推移したため、計画の通りとなりました。医療検査装置やバイオ関連機器用途の高機能製品も好調で、国内の家電分野や中国における通信機器分野の販売も堅調に推移しました。一方、パワー半導体基板は徐々に用途を拡大し、ロボット制御・自動車・家電への採用が広がっています。



磁性流体



サーモモジュール

太陽電池関連事業

売上高 **187億円** 営業利益 **△11億円**

太陽電池関連事業は、中国での固定買取制度の期限到来により、年後半から在庫調整が急速に進み、価格が低位のままで推移しました。ユーザーの経営破綻による貸倒引当金の発生や材料在庫の評価損などもあり、不本意な結果となりました。この対処策として、不採算製品の縮小や設備の除却などを進め構造改革を継続しております。



太陽電池用セル



石英坩堝

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 当期 平成29年3月31日現在 | 前期 平成28年3月31日現在 |
|--------------|--------------------|--------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 51,245 | 45,284 |
| 固定資産 | 40,855 | 33,484 |
| 有形固定資産 | 34,294 | 26,044 |
| 無形固定資産 | 2,060 | 2,062 |
| 投資その他の資産 | 4,499 | 5,377 |
| 資産合計 | 92,100 | 78,769 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 32,108 | 29,351 |
| 固定負債 | 20,290 | 9,929 |
| 負債合計 | 52,399 | 39,280 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 33,208 | 30,199 |
| その他の包括利益累計額 | 6,015 | 8,484 |
| 新株予約権 | 23 | 24 |
| 非支配株主持分 | 453 | 780 |
| 純資産合計 | 39,701 | 39,488 |
| 負債純資産合計 | 92,100 | 78,769 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで | 前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 8,218 | 4,642 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △7,070 | △4,023 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 3,897 | △520 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | △305 | △576 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | 4,739 | △479 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 10,038 | 10,517 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 14,778 | 10,038 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで | 前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで |
|--------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 73,847 | 69,463 |
| 売上原価 | 54,139 | 52,149 |
| 売上総利益 | 19,708 | 17,313 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,030 | 13,289 |
| 営業利益 | 5,678 | 4,024 |
| 営業外収益 | 862 | 664 |
| 営業外費用 | 864 | 867 |
| 経常利益 | 5,675 | 3,822 |
| 特別利益 | 170 | 33 |
| 特別損失 | 731 | 499 |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,114 | 3,356 |
| 法人税等 | 1,886 | 1,266 |
| 当期純利益 | 3,228 | 2,089 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | △27 | △72 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,256 | 2,162 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで | 前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで |
|------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 当期純利益 | 3,228 | 2,089 |
| その他の包括利益 | △2,477 | △2,101 |
| その他有価証券評価差額金 | 32 | △126 |
| 為替換算調整勘定 | △2,440 | △1,968 |
| 退職給付に係る調整額 | △44 | 19 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △24 | △26 |
| 包括利益 | 751 | △11 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 787 | 86 |
| 非支配株主に係る包括利益 | △36 | △98 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

株式情報 / 会社情報 (平成29年3月31日現在)

株式の状況

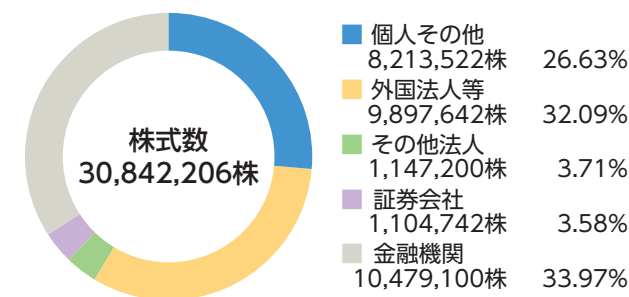
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 67,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 30,935,702株 |
| 株主数 | 10,548名 |

大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|--|-----------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 3,724,900 | 12.04 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,238,400 | 7.23 |
| 山村 章 | 823,200 | 2.66 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口) | 821,200 | 2.65 |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC) | 628,606 | 2.03 |
| PICTET AND CIE (EUROPE) SA,LUXEMBOURG REF:UCITS | 561,300 | 1.81 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口) | 551,400 | 1.78 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385166 | 530,400 | 1.71 |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 525,689 | 1.69 |
| RE FUND 107-CLIENT AC | 522,837 | 1.69 |

(注) 1.当社は、自己株式93,496株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.表示単位未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注1) 自己株式93,496株は上記の円グラフ中の株式数に含まれていません。
(注2) 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

| | |
|------|--|
| 商号 | 株式会社フェローテックホールディングス (英文表記) Ferrotec Holdings Corporation (平成29年4月1日より、 株式会社フェローテックホールディングス に商号変更致しました) |
| 設立 | 昭和55年9月27日 |
| 資本金 | 132億1,583万8,330円 |
| 株式公開 | 株式会社東京証券取引所 JASDAQ 平成8年10月18日(証券コード:6890) |
| 決算期 | 3月31日 |
| 従業員数 | 5,692名(連結) |

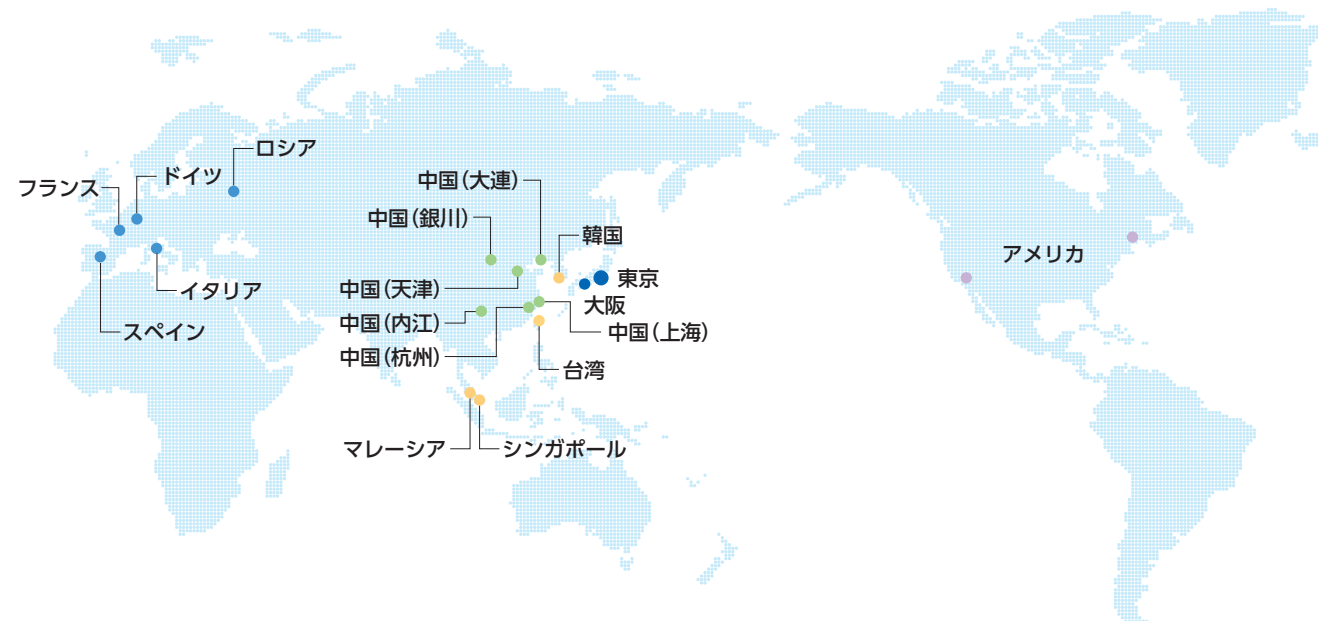
事業所

| | |
|-------|---|
| 本社 | 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階 |
| 関西営業所 | 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル1階 |
| 千葉工場 | 〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4 |

役員 (平成29年6月29日現在)

| 取締役 | |
|----------|---------|
| 代表取締役社長 | 山村 章 |
| 代表取締役副社長 | 山村 丈 |
| 代表取締役副社長 | 賀 賢 漢 |
| 取締役 | 若木 啓 男 |
| 取締役 | 宮 永 英 治 |
| 社外取締役 | 片山 茂 雄 |
| 社外取締役 | 中村 久 三 |
| 監査役 | |
| 常勤社外監査役 | 樋口 隆 昌 |
| 社外監査役 | 福 森 久 美 |
| 社外監査役 | 藤 本 豪 |

グローバルネットワーク



欧州

- フランクフルト (ドイツ)
- シュツットガルト(ドイツ)
- モスクワ (ロシア)
- リヨン(フランス)
- ミラノ(イタリア)
- マドリッド(スペイン)

中国

- 杭州
- 上海
- 銀川
- 天津
- 内江
- 大連

東南アジア

- シンガポール
- 新竹 (台湾)
- ウィワン (韓国)
- チュンチョン(韓国)
- クアラルンプール(マレーシア)

日本

- 東京[本社]
- 大阪

米国

- ベッドフォード
- リバモア
- サンタクララ

販売拠点 生産拠点